

南九州 畜産獣医学拠点 を知る

—第7回—

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地に「南九州畜産獣医学拠点」の整備を進めており、令和6年4月1日の運用開始を目指しています。現在、教室の改修工事や畜舎の建設工事が行われており、周辺住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしていますが、おかげさまで順調に工事が進んでいるところです。

今回は、南九州畜産獣医学拠点の名称についてご紹介します。

南九州畜産獣医学拠点の総括(その3)

～名称について～



正式名称は 『南九州畜産獣医学拠点』

曾於市と鹿児島大学が今回の事業を進めていくうえで、施設の場所や何をするかを明確にするため『南九州畜産獣医学拠点』を正式名称としています。



『SKLV(スクラブ)』の由来は？

南九州畜産獣医学拠点を英訳すると **South Kyushu Livestock Veterinary center** です。各単語の頭文字をとって『SKLV』とし、読み方を『スクラブ』としました。Sには曾於市の S、Kには鹿児島大学の K の意味も含んでいます。



通称は 『SKLV(スクラブ)』？

『南九州畜産獣医学拠点』は畜産・獣医学の実習施設であり、市内外の一般の方が集える地域交流・観光拠点でもあります。短く覚えやすい通称として『SKLV』^{スクラブ}を考えています。

『スクラブ』と読むのはなぜ？

次のような意味があります。



- ①スクラブ (scrub)
 - ・医療用の白衣のこと。将来の獣医師が多く集まるという『SKLV』の設立趣旨に合致しています。
 - ・ゴシゴシ洗うという意味。『SKLV』が畜産や獣医療の技術を磨く場所になるようにという願いを込めています。
- ② skill (スキル)・技術や技能の意味。『SKLV』の SKL はスキルと読むこともできることから獣医師や畜産業の人材育成、スキルアップを目指すという『SKLV』の目標を取り入れています。



7回シリーズで掲載してきた『南九州畜産獣医学拠点を知る』は今回で終了しますが、工事の進捗状況などを皆さまに知っていただくため随時情報を掲載していきます。

今後も工事が続き、近隣の皆さまや市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。施設が完成した際はどうぞお気軽に『SKLV』にお越しください！

【南九州畜産獣医学拠点に関連する SDGs】



【今後のスケジュール(予定)】

- 令和5年3月 研究棟・教育棟・連携棟改修工事完了
牛舎・鶏舎新築工事完了
- 令和5年中 馬エリア施設整備
- 令和6年4月 運用開始

